

# 脳卒中ケアユニット（SCU）

当院では、2022年10月1日より脳卒中ケアユニット（9床）を開設しました。

脳卒中ケアユニットとは、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）の患者様を治療する専用病床です。

24時間体制で専門の医師、看護師、リハビリテーションスタッフなどからなる専門スタッフにより治療を行います。

より質の高い脳卒中医療を提供できることを目指します。



## 脳卒中)

- 脳卒中は、脳の血管に関する疾患を総称するものです。
- 代表的なものとしては、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。
- 脳卒中は、日本における死因の第3位であり、寝たきりや介護の原因として第1位となっています。
- 近年、脳卒中の治療成績を上げるために専門性の高い医療が求められています。

# SCUで治療すること

## 施設基準)

- 脳神経外科または神経内科常勤医師が常時1名配置されていること
- 専用の治療室があること
- 看護師が常時3対1（患者3人に対し看護師1人）以上であること
- 脳卒中診療を行うための装置および医療器具を常時備えていること
- リハビリテーションの経験がある専任の理学療法士または作業療法士が1名以上配置されていること
- CT、MRI、脳血管造影などの撮影・診断が常時可能であること
- 入院患者の8割以上が脳卒中患者であること

## SCUのメリット)

脳卒中ケアユニットで治療を行うことにより一般病床で治療するより脳卒中の再発・悪化、肺炎などの感染症および死亡率の低下、在宅復帰率の上昇、在院日数の短縮などの効果が報告されています。

（脳卒中ガイドライン2021）